

第 14 回 北東アジア国際観光フォーラム(ハルビン)
「北東アジアの観光振興」(How to promote tourism in North East Asia)

大阪観光大学名誉教授 鈴木勝

(Professor Emeritus, Osaka University of Tourism)

元・桜美林大学教授(Former Professor of J.F.Oberlin Univ.)

国連・世界観光機関(Tourism Expert-UNWTO)

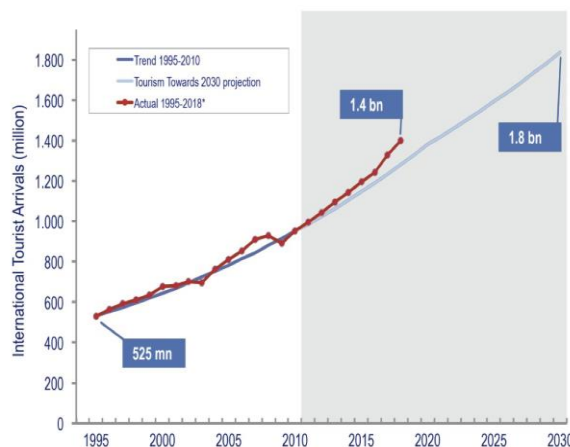
1. はじめに

みなさま、こんにちは。 私は大阪観光大学の鈴木勝です。本日は、このような機会をいただき、「北東アジアの観光振興」のタイトルにてお話できますこと、誠に光栄に思っております。北東アジア国際観光フォーラムは今回で 14 回目ですが、観光交流の促進のためには北東アジア観光関係者が、意見を交換し、相互に協力できる態勢づくりをすることが必要であります。「北東アジア国際観光フォーラム (IFNAT)」は、北東アジア観光開発および発展のために、多くの意義ある貢献をなしていると信じています。私は、毎年、このフォーラムに参加し発表しています。本日は、世界の観光動態、特に北東アジアと日本について述べ、また、今後、北東アジアの推進すべき観光振興策について話したい。

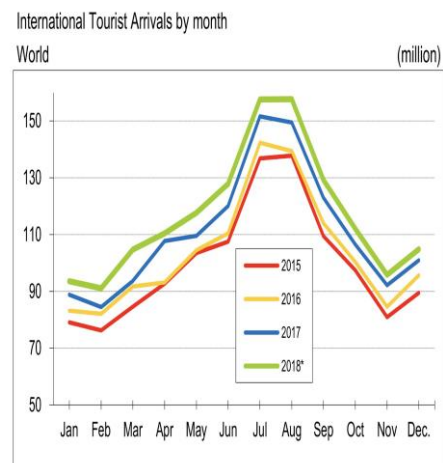
まず、最近の世界および北東アジアの観光実態です。2019 年 1 月発表の世界観光機関 (UNWTO) によれば、2018 年の世界観光客到着数は、2013 年に初めて 10 億人の大台に乗りましたが、さらに大幅の 5.6%アップの 14 億 0,300 万人に達したとの報告です。また、2019 年には世界全体が 3%~4%アップで伸びると予想されています (図表 1・2)。

(図表 1) 2018 世界観光客到着 (UNWTO2019)

Actual Trends vs Tourism 2030 Forecast- World



(図表 2) 観光客の月毎の伸び率
2015-2018 (AS OF JAN.2019)



中でも「アジア太平洋」は、極めて高い伸び率を示す地域であり、特に日中韓を中心とした「北東アジア」は、今後も世界平均を上回って進むことが予想されています。2019 年 1 月現在発表の数値では、2018 年は「北東アジア」は 1 億 6,920 万人の到着数がありました。「北東アジア」は、他の地域と比較して、かなり伸びています（図表 3）。

図表 3)

International Tourist Arrivals in North East Asia (100万人:Million)									
「北東アジアにおける国際観光量」(100万人)(Million) [AS OF MAY,2019 UNWTO]									
年 地域	2005	2010	2015	2016	2017	2018	シェア 2018*	17/ 16 (%)	18*/ 17 (%)
North East Asia (北東アジア)	85.9	111.5	142.1	154.3	159.5	169.2	12.1	3.4	6.1
South East Asia 東南アジア	49.0	70.5	104.2	110.8	120.5	129.9	9.3	8.8	7.9
Oceania オセアニア	10.9	11.5	14.3	15.6	16.6	17.0	1.2	6.1	2.8
South Asia 南アジア	8.3	14.7	24.0	25.9	27.5	28.9	2.1	6.2	5.2
Asia & The Pacific アジア太平洋	154.1	208.2	284.6	306.6	324.0	345.1	24.6	5.7	6.5
World	809	952	1,195	1,241	1,328	1,403	100	7.0	5.6
Ref: UN World Tourism Organization. (2018* preliminary figure)									

資料: 世界観光機関(UNWTO) 2019 年 5 月発表 [2018*]暫定数値

2. 最近の日本の観光

日本の概況はどうでしょうか。インバウンドでは、小泉元首相は 2003 年の施政方針演説で「観光立国の道」を表明し、「2010 年に 1,000 万人」の訪日外国人誘致プランを発表しました。「ビジット・ジャパン・キャンペーン VJC」が 2003 年にスタートし、前半は官民による活発な活動と円安などの追い風も手伝い、順調な伸びで進みましたが、後半になり世界的な経済不況に加え円高が影響を及ぼし、目標の「1 千万人」に到達しませんでした。

その後、2011 年に東日本大震災を経て落ち込みを見せましたが、2013 年に 1,036 万人となりました。さらに、順調に推移し、2018 年は前年を大きく超えて、3,119 万人（前年伸び率+8.7%）に達しました（図表 4）。政府はもちろん、地方自治体、民間企業、国民全体の協力の賜物であります。特に、継続的な観光プロモーションや種々の渡航緩和政策の効果が著しくあります。しかしながら、急増の訪日外客に関し、中国人や韓国人などの少数の国々に依存する体質に課題がないわけではありません。

日本は 2020 年に首都東京で、オリンピックやパラリンピックがあります。このビッグ・イベントを生かし、来年 2020 年までに 4,000 万人、2030 年に 6,000 万人の訪日外国人を迎える目標を設定し、現在、勢いよく進んでいます。

北東アジアの国々の実態を見たい（図表 5）。「中国」は、毎年多くの観光客があります。しかし、世界中に影響大きいのは、中国人外国旅行者です。2017 年は、1 億 3,000 万人です。他方、訪中外国人数は、大気汚染や食の安全問題で、訪問者数が伸び悩んでいます。「韓国」の国際観光は、インバウンド分野では、最近、大きな変化があります。2017 年は、「－22.7%」と大きく減少しているのは、中韓間の政治外交的な問題で、中国人旅行客数の大幅な減少要因があります。「モンゴル」の国際観光に関しては、絶対数は少ないですが、双方とも伸びています。「ロシア」観光に関して、インバウンドは決して順調ではなくですが、ロシア人海外旅行者は順調に世界に出ています。

4. 北東アジアにおいて、今後、強力に推進すべき観光振興策—ビザ政策—

世界的に観光が盛んになってきた背景として、5つの要因が指摘されています。

1. 経済発展・安定、2. 外国旅行の制限緩和・自由化、3. ツーリズム・インフラの整備、4. デスティネーション開発、5. プロモーション活動の開発です（東洋大学・津山雅一教授）。

最近、強力で目覚ましい効果を発揮している要因は、2. 「外国旅行の制限緩和・自由化」、いわゆる「ビザ関連政策」だと考えています。近頃の北東アジアの国々の政策に顕著に見られます。私はこの分野で、もっと努力と工夫を傾注すべきであると考えます。

「ノービザ制」が理想的ですが、国家の治安や安全を守ることも重要であり、安易に導入すべきでないと思います。現在、「観光先進国」と称される国々では、国益（不法滞在、犯罪防止など）を守り柔軟なビザ関連政策を採用しています。それらを紹介します。

まず、「ノービザ形態」です。[ノービザ（無査証）]：通常、観光目的に適用される査証免除です。また、特定地域のみを無査証とする手法もあります。学生団体などの特定のマーケットやクルーズでの入国への無査証もあります。[査証免除トランジット]：有効期間内に他国をある一定時間以内に通過できるノービザ制があります。

次に、「査証が必要な形態」です。[マルチ（数次）ビザ]：一定期間内であれば何回でも入国ができます。[電子渡航許可制度] E（電子）ビザであり、短時間で入国許可を得ることができます。[長期滞在対象の年齢限定ビザ]：シニア層のロングステイ制を推進するマレーシアなどが実施しています。[ワーキング・ホリデー・ビザ]：青少年に限り旅行費用を賄うため、一定の条件で就労を認める制度です。[査証の現地取得（VISA ON ARRIVAL）]：相手国の空港で、査証を申請し取得できる制度です。

北東アジアでのビザ関係の実態を見ましょう。近年、活発な動きを見せるのは「韓国政府」です。「ノービザ制」をドラスティックに導入しています。日韓間では早くから実施し、中国人に対しては、「済州島・無査証」があります。また、ロシア人に対して、最近、無査

証制を導入しました。「中国政府」に関しては、日中間では、かなり以前に日本人に対してノービザ制を導入しました。最近、北京などに到着する旅行客に対して、144 時間（6 日間）以内のビザなし滞在を認可しました。「ロシア政府」に関しては、韓国人にはノービザ制を採用し、中国人に関しては団体旅行に対して無査証としています。「日本政府」はロシア人の日本への渡航に関して、数次ビザ発給を 2017 年から開始しています。また、中国人に対して、2020 年 4 月から「電子（E）ビザ」を導入する予定です。

北東アジアの国々は、種々の方策で努力しています。「ノービザ制」は性急な導入はしない方が、私は良いと考えています。柔軟なビザ緩和制が、大きな効果を発揮すると思います。例えば、「電子（E）ビザ化」、「数次ビザ」、「査証の現地取得」などを推進する一方、特に、「修学（教育）旅行」、「ワーキング・ホリデー・ビザ」、「シニア向けロングステイ」などはもっと進むべきです。こうすれば、北東アジアでの「国境ツアー」、「周遊型ツアー」、「リピーター対象ツアー」などを開発・推進すれば、北東アジアはもっと活発化できます。

5. 終わりに

「国際観光で経済の活性化」を求めるとともに、国家の利益を守ることが重要であります。「無査証（ノービザ）」に固執することなく、柔軟な工夫を考えるべきです。EU やアセアンと比較し、北東アジアはビザ関連分野で実施すべき手法がまだ多くあります。

最後に、最近、直面する懸念を述べたい。今回述べたビザ緩和政策や LCC の進出などで盛んな観光動態に対して、あるブレーキ現象があります。「政治的・外交的」問題による「観光面」への圧迫です。例えば、「高高度防衛ミサイル配備」に対しての中韓双方での渡航制限、日韓間のいくつかの問題―皆様をご存知のよう―における「観光面」への影響です。その結果、北東アジア全体の伸び率が鈍化傾向にあります。「民間レベルの自由な観光」に対し、いかなる国も政治的・外交的な介入は避けなければならないと思っております。本日は発表の時間をいただき、厚く御礼申し上げます。（了）



东北亚的观光振兴

大阪观光大学名誉教授、IFNAT议长 铃木 胜 (日本)

一、前言

大家好!

我是大阪观光大学的铃木胜。今天有这样的发言机会,能够就“东北亚观光的振兴”的题目与大家进行探讨,我感到非常荣幸。

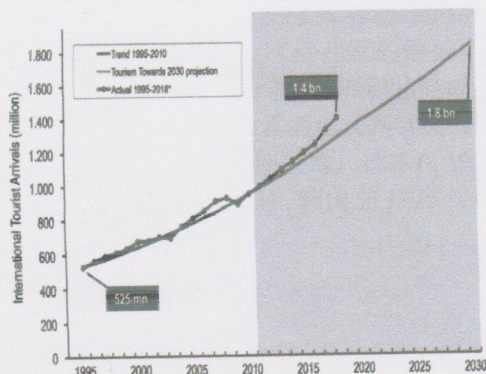
本次东北亚国际观光论坛已经是第十四届了,我认为,为了进一步促进观光交流,东北亚观光界人士交换意见、相互交流、加强联系、形成互相协作的氛围十分必要。同时,我相信,东北亚国际观光论坛(IFNAT),将为东北亚国际观光开发及发展做出具有广泛意义的贡献。每年我都参加这个论坛,并进行发表。今天我将就世界观光的动态、特别是东北亚和日本的观光动态进行简要发言,此外,我也想就今后东北亚的观光、尤其是应该朝着什么方

向进行努力来谈一谈自己的看法。

首先,谈一谈最近世界及东北亚的观光动态。2019年1月发表的世界观光机构(UNWTO)发布数据显示,2018年世界观光客到访人数,在2013首次登上10亿人大关之后再次出现大幅提高,创下增加5.6%的,为14亿零300万人的历史记录。有预测认为,2019年将以3%-4%的速度增长(图表1·2)。

其中,“亚太地区”将成为拥有极其高增长率的地区。特别是以日中韩为中心的“东北亚”的观光,预计今后将超过世界平均水平向前推进。2019年1月发表数据显示,2018年东北亚有1亿零6920万人游客到访。从中可知,与其他地区相比,东北亚地区的观光客人数正在大幅增加(图表3)。

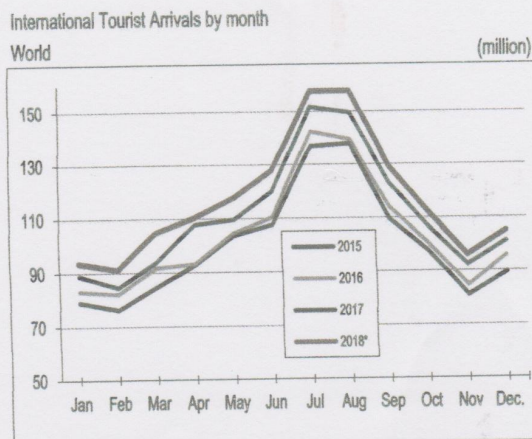
图表1 2018 世界观光客到访 (UNWTO)
Actual Trends vs Tourism 2030 Forecast- World



Source: World Tourism Organization (UNWTO), January 2019

资料来源: UNWTO2019

图表2 国际观光客月均增长率
2015-2018 (AS OF JAN.2019)



Source: World Tourism Organization (UNWTO) ©



图表3 东北亚国际观光到访人数

(单位 Unit: 100 万人: Million)

International Tourist Arrivals in North East Asia (100万人:Million)									
「北東アジアにおける国際観光量」(100万人)(Million) [AS OF MAY 2019 UNWTO]									
年	2005	2010	2015	2016	2017	2018	シェア 2018*	17/ 16	18*/ 17
地域								(%)	(%)
North East Asia (北東アジア)	85.9	111.5	142.1	154.3	159.5	169.2	12.1	3.4	6.1
South East Asia 東南アジア	49.0	70.5	104.2	110.8	120.5	129.9	9.3	8.8	7.9
Oceania オセアニア	10.9	11.5	14.3	15.6	16.6	17.0	1.2	6.1	2.8
South Asia 南アジア	8.3	14.7	24.0	25.9	27.5	28.9	2.1	6.2	5.2
Asia & The Pacific アジア太平洋	154.1	208.2	284.6	306.6	324.0	345.1	24.6	5.7	6.5
World	809	952	1,195	1,241	1,328	1,403	100	7.0	5.6
Ref: UN World Tourism Organization. (2018* preliminary figure)									

资料来源:世界观光机构(UNWTO) 2019年1月发表

[2018*]暂定数值

二、最近的日本观光

那么,比较一下国际的增长情况,日本的情况又是如何呢?2003年,日本前首相小泉纯一郎在发表施政方针演说中提出“观光立国之路”,即到2010年实现吸引外国游客1000万人的吸引观光客计划。并在2003年开始实施“美丽·日本·宣传VJC”。前半年,由于官民并举推进活动的活跃展开、加上日元贬值的风声,该计划顺利实现,但到了后半年,由于发生世界经济危机,加上日元升值影响,未能实现吸引外国访问者1000万人的目标。之后,2011年日本发生了东日本大地震,到访外国游客出现回落。但2013年实现了1036万人的目标。2015年、2016年、2017年三年该计划顺利推进。2019年1月,日本政府发表的数据显示,2018年大大超过了上年的水平,达到3119万人(比上年增加了8.7%),创下历史最高纪录。这一成果,得益于日本政府,特别是地方自治体、民间企业、全体国民的协作。特别值得一提的是,持续不间断的观光宣传推介和各种面前缓和政策取得显著成效。但是,从急速增长的访日外国人构成看,日本主要依赖中国和韩国等几个国家的客源体质,尚存在一些亟待需要解决的课题。

日本因将要在2020年在首都东京举办奥林匹克运动有了作为东道国的殊荣。政府为用活这个

大赛事,制定了到2020年接待访问外国人4000万人、2030年接待访问外国人6000万人的目标,现在正在全力推进中(图表4)。

另一方面,日本人海外旅行者,这10年来以接近1700-1800万人的数量推移(图表4)。但这一情况一定程度上也是经济发展迟缓、恐怖问题以及年青人不愿意去海外旅行、日中及日韩政治·外交关系紧张所致。

三、“东北亚”的观光交流实态

东北亚观光圈的实态究竟是怎样一种情况?另外,今后的观光推进又应如何进行呢?本文提到的“东北亚观光圈”主要是指日本、中国、韩国、蒙古和俄罗斯,所以与联合国世界观光机构发布的统计地区略有差异。

首先,来看一下东北亚观光圈的各国国际观光人员及旅游情况(图表5)

中国每年都有众多的观光客常态性第出国访问。不管怎么说,中国人的出境游给世界带来了冲击影响。2017年增加到1亿3000万人。而与此同时,外国人到中国的旅行,因中国的大气污染、食品安全问题等出现了敬而远之的情况,访问人者数下降。从韩国的国际观光看,最近入境游旅客也发生了较大变化。2017年出现的-22.7%的大幅减少现象,主要是由于中韩间的政治外交问题,使中国



图表 4

[日本の国際観光量] (単位:百万人) 「International Tourism Volume in Japan」 (Million)										
Year	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	*2019
Out/In										
Japanese overseas Tourist 日本人 海外旅行	16. 637	16. 994	18. 491	17. 473	16. 903	16. 214	17. 116	17. 889	18. 954 +6.0%	19. 100
Foreign tourist to Japan 訪日 外国人	8. 611	6. 219	8. 358	10. 364	13. 413	19. 737	24. 040	28. 691	31. 192 +8.7%	35. 500

JTO (Japan National Tourism Organization)

*2019(JTB 見通し FORECAST)

4

人旅客大幅减少所致。而蒙古的国际观光,尽管游客的绝对数较少,但入境旅客和出境旅客双双为增长。从俄罗斯的观光看,在入境旅客方面并非一帆风顺,但是俄罗斯人海外旅行者顺利地到世界各地旅行。

四、东北亚今后应推进的振兴政策——签证政策——

有研究指出,上述国际观光在世界范围活跃的通常背景,主要有以下几方面:

1. 经济发展·安定。2. 外国旅行限制放宽和

自由化。3. 旅游顺利进行所需的基础设施完善。4. 旅游目的地开发。5. 宣传推介活动的开发(东洋大津山雅一教授)。我觉得,近年最大并且迅速发挥应的要因是第二条——2. 外国旅行限制放宽及自由化。这一情形在近年的东北亚观光圈发展中分显著。我认为,在这方面,东北亚观光圈应进步投入力量。

我们都知道,为了推进国际交流不断取得发展,理想的做法是实施免签这一“无签证”制度,由于国家利益、也就是说,保证国家治安及安全的重要性,所以并不是能轻易地将其纳入进来的。

图表 5 东北亚观光圈的国际观光客到访人数(UNIT单位:100万人 Million)

Year Nation	2005	2010	2015	2016	2017	16/15 (%)	17/16 (%)
Japan	6.728	8.611	19.737	24.039	28.691	21.8	19.4
China	46.809	55.665	56.866	59.270	60.740	4.2	2.5
Korea (ROK)	6.023	8.798	13.232	17.242	13.330	30.3	-22.7
Mongolia	0.339	0.456	0.386	0.404	0.469	4.7	16.1
Russian Federation	22.201	22.281	26.852	24.571	24.390	-8.5	-0.7

资料来源:世界观光机构(UNWTO) 2018年发表 [2017*] 暂定数值



重,被称为观光先进国家的东北亚各国,在保护者国家利益的同时,采取了各种各样的政策,大致区分的话,我认为可以分为“签证关联”与“其他制度”以下我具体介绍一下。

首先,是属于无签证形态事物。“no 签证(无签证)” :通常为适用于观光目的的免签。另外,也有只对特定地区的无签证手法。例如,韩国政府实施的针对中国人的济州岛免签。对特定的市场(如,学生团体)和在周游观光船上实行的入国免签。而“过境免签” :是指客在 72 小时或 144 个小时有效期内通过的无签证制度。

其次,是必须获得签证的形式。

“多次(数次)签” :入境签证是指定的、只要不申请只能用 1 次,但在一定时间内可以多次入境。“电子出国许可制度”是 E(电子)签证,可在在短时间内获得许可。“对长期滞在对象限定年龄签” :推进年长者层常住制度的马来西亚采用了这一做法。“工作·假日签” :是为了给青少年提供旅费,在一定条件下允许工作的制度。“落地签(VISA ON ARRIVAL)” :到达旅游目的地国家机场时,申请取得签证的制度。另外,在“签证关联”之外,还有“机场 CIQ 手续简化”及“旅行便利化制度性障碍的消除”。

那么,再来看一下“签证关联”的实态。近年,在东北亚观光圈比较活跃的是韩国。正在积极引入免签制度。最早是在日韩间开始实施,对于中国人,也早在“济州岛”实施了免签制度。对俄罗斯人,最近因引入免签争夺带来的影响,离韩国近的俄罗斯人游客纷纷涌向韩国。从中国政府方面看,在日中两国之间,为了摆脱中国的危机,很早以前就对日本人引用了免签制度。最近,对北京机场等规定的机场、港口的旅客,只要持有出国机票,就允许在 144 小时(6 日)以内无签证滞留。俄罗斯政府方面对韩国人采用了免签制度,但对中国人,是对一定

条件的团体旅行实行免签。日本政府对俄罗斯人访问日本,从 2017 年开始发放多次签证。另外,最近有报告预测认为,日本对中国人,预计将从 2020 年 4 月开始引入“E 签证。”

这样看来,“东北亚观光圈”国家正在努力实施适合本国的旅游政策。就该观光圈导入免签制度来而言,我觉得不急于做出决定方为上策。柔性的签证取得制度,不是更能发挥效应吗。例如,我们在推进“签证发放的网络化”、“多次签”“落地签”的同时,应该考虑对“教育旅行人群”、工作·假日层等面向青少年、老年人的常住等进行更高层面的推进工作。

通过采取类似的制度,在东北亚观光圈开发“周游型旅行”“跨国旅游”,可以促进交流活动。另外,还可以通过现地参加型积极推动面向多个旅游目的地的巡回旅游形式。

那么,在“持续增长”的东北亚观光圈观光实态的最后,想谈一下我的担忧。在免签·放宽及 LCC(格安航空公司)的进出过程中针对发展倾向,也存在着急刹车的问题。也就存在于东北亚各国间的、“政治·外交”中的观光层面的压力。例如,中韩之间出现的对韩国人的出国限制、众所周知的日韩之间的一些问题,与观光的紧密联系。其结果,东北亚的增长率处于停滞状态。我认为,必须避免“政治·外交”的介入“人类的自由观光活动”。

五、结语

在寻求通过国际观光激活经济的同时,重要的是确保国家利益。各国不应拘泥于“无签证”制度,还应寻求柔性的对应策略。比起 EU 和 ASEAN,东北亚观光圈应在免签以外的领域多多采取政策。

再次感谢给我发言的机会,期待我们来年我们再相聚。

(杜颖 译)

[14th IFNAT in Harbin, 2019]
How to promote Tourism
in North East Asia

第14回北東アジア国際観光フォーラム(哈尔滨市)
「北東アジアの観光振興」

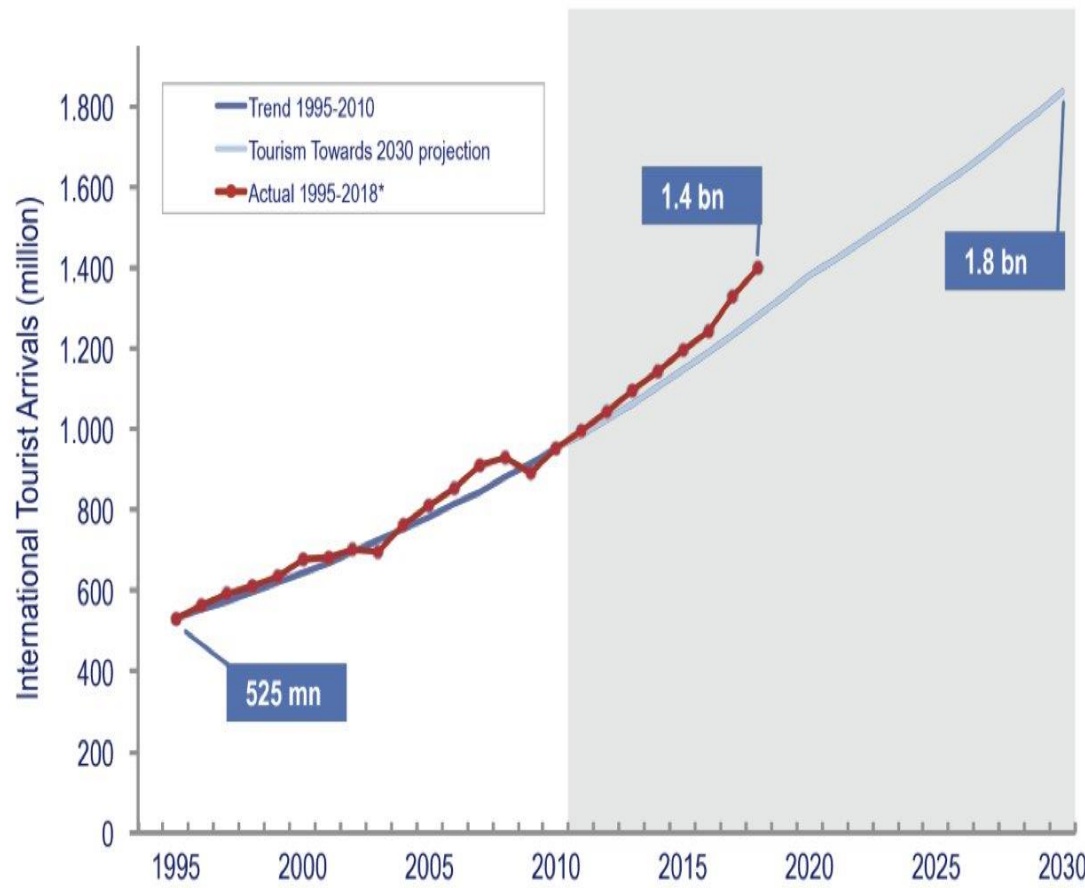
鈴木 勝
大阪観光大学(名誉教授)
桜美林大学 (元・教授)
国連・世界観光機関
(ツーリズム・エキスパート)

Masaru SUZUKI
Prof. Emeritus, Osaka Uni. Of Tourism
Tourism Expert-UNWTO

国際観光の現況 [INT'L TOURISM-PRESENT & FORECAST-]

国際観光客到着数

Actual Trends vs Tourism 2030 Forecast- World



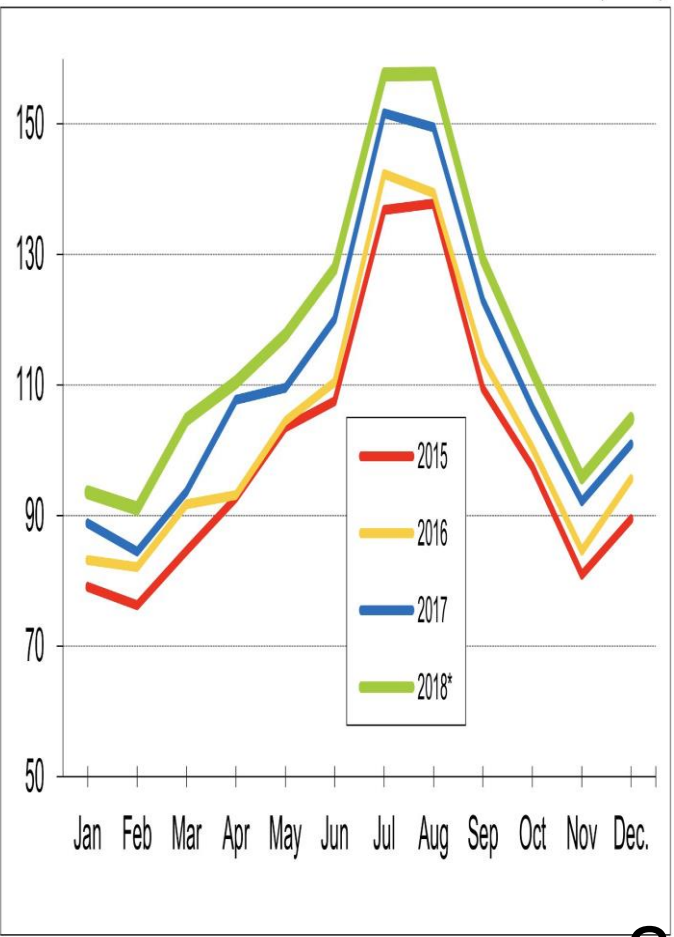
Source: World Tourism Organization (UNWTO), January 2019

国際観光客の月毎の伸び率

2015-2018 (AS OF JAN. 2019)

International Tourist Arrivals by month

World (million)



Source: World Tourism Organization (UNWTO) ©

International Tourist Arrivals in North East Asia

(100万人:Million)

「北東アジアの国際観光量」

(100万人)(Million)

[AS OF MAY,2019 UNWTO]

年 地域	2005	2010	2015	2016	2017	2018	シェア 2018*	17/ 16 (%)	18*/ 17 (%)
North East Asia (北東アジア)	85.9	111.5	142.1	154.3	159.5	169.2	12.1	3.4	6.1
South East Asia 東南アジア	49.0	70.5	104.2	110.8	120.5	129.9	9.3	8.8	7.9
Oceania オセアニア	10.9	11.5	14.3	15.6	16.6	17.0	1.2	6.1	2.8
South Asia 南アジア	8.3	14.7	24.0	25.9	27.5	28.9	2.1	6.2	5.2
Asia & The Pacific アジア太平洋	154.1	208.2	284.6	306.6	324.0	345.1	24.6	5.7	6.5
World	809	952	1,195	1,241	1,328	1,403	100	7.0	5.6
Ref: UN World Tourism Organization. (2018* preliminary figure)									3

[日本の国際観光量]

(単位:百万人)

「International Tourism Volume in Japan」 (Million)

Year Out/In	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	<i>2019</i> *
Japanese overseas Tourist 日本人 海外旅行	16. 637	16. 994	18. 491	17. 473	16. 903	16. 214	17. 116	17. 889	18. 954 +6.0 %	<i>19. 100</i>
Foreign tourist to Japan 訪日 外国人	8. 611	6. 219	8. 358	10. 364	13. 413	19. 737	24. 040	28. 691	31. 192 +8.7 %	<i>35. 500</i>

Ref: UNWTO/JNTO (Japan National Tourism Organization)

*2019(JTB 見通し FORECAST)

International Tourist Arrivals in North East Asian Region

「北東アジア観光圏の国際観光客到着数」

(UNIT単位: 100万人 Million)

Year	2005	2010	2015	2016	2017*	16/15 (%)	17/16 (%)
Nation							
<i>Japan</i> 日本	<i>6.728</i>	<i>8.611</i>	<i>19.737</i>	<i>24.039</i>	<i>28.691</i>	<i>21.8</i>	<i>19.4</i>
China 中国	46.809	55.665	56.866	59.270	60.740	4.2	2.5
Korea (ROK) 韓国	6.023	8.798	13.232	17.242	13.330	30.3	-22.7
Mongolia モンゴル	0.339	0.456	0.386	0.404	0.469	4.7	16.1
Russian Federation ロシア	22.201	22.281	26.852	24.571	24.390	-8.5	-0.7

Ref:[UNWTO] 2018

[2017*]preliminary figures

☆「グローバル・ツーリズムの発展理由」 (Development reasons of Global Tourism)

- ① 経済発展・安定 (Economic Development & Stability)
- ② 外国旅行の制限緩和・自由化
(Relaxation of restriction on and liberalization of overseas travel)
- ③ ツーリズム・インフラの整備
(Development of Tourism Infrastructure)
- ④ デスティネーション開発 (Development of Destinations)
- ⑤ プロモーション活動の開発 (Development of Tourism Promotion)

資料) 津山雅一 (Prof. TSUYAMA) 「東アジア・西太平洋地域における爆発するツーリズムの背景」

国際観光(査証対策) INT'L TOURISM(VISA POLICY)

VISA Exemption (ビザなし)	☆ VISA FREE ENTRY (FOR ORDINARY PASSPORTS) ☆ “ (TO VISIT CERTAIN REGION) ☆ “ (TO GROUP) ☆ “ (TO STUDENT) ☆ “ (TO CRUISE SHIP VISITORS) ☆ VISA FREE TRANSIT (24/72/144-hour stay)
TYPE of VISA (ビザの 種類)	☆ MULTIPLE VISA (数次ビザ) ☆ E-VISA (電子ビザ) ☆ VISA ON ARRIVAL (到着後発給ビザ) ☆ LONGSTAY VISA (ロングステイ ビザ) ☆ WORKING HOLIDAY VISA (ワーキングホリデー ビザ)

現在の北東アジア・査証政策(PRESENT VISA POLICY IN NEA)

CHINA 中国	☆VISA FREE TRANSIT(24/72/144-HOUR STAY) ☆MULTIPLE VISA (数次ビザ) ☆VISA FREE FOR GROUP-RUSSIAN UP TO 30 DAYS(ロシア人団体) ☆VISA ON ARRIVAL (現地到着後ビザ)
KOREA 韓国	☆VISA FREE ENTRY(TO JEJU IS.(済州島) FOR CHINESE) ☆VISA FREE FOR RUSSIAN ☆MULTIPLE VISA(数次ビザ) ☆WORKING HOLIDAY VISA(FOR JAPANESE) ☆TRANSIT TOURISM PROGRAM(INCHEON AIRPORT)
RUSSIA ロシア	☆VISA FREE VISITS (CRUISE & FERRY PASSENGERS) ☆VISA FREE FOR KOREAN(ROK) ☆VISA FREE FOR GROUP(中国人5~50PAX)-CHINESE ☆MULTIPLE VISA(数次ビザ) ☆E-VISA(VISIT TO THE REGIONS IN THE RUSSIAN FAR EAST) ☆VISA ON ARRIVAL(現地到着後ビザ)
MONGOLIA モンゴル	☆MULTIPLE VISA(数次ビザ) ☆VISA ON ARRIVAL(現地到着後ビザ)
JAPAN 日本	☆VISA FREE ENTRY FOR KOREAN (ROK) ☆E-VISA(FOR CHINESE FROM APRIL,2020) ☆MULTIPLE VISA(VISIT TO OKINAWA & TOHOKU FOR CHINESE) ☆WORKING HOLIDAY VISA(FOR YOUNG KOREAN(ROK))

☆査証政策での北東アジアの発展

PROMOTION BY VISA STRATEGY IN NEA

○国境ツアー BORDER TOUR

○リピーター対応ツアー TOUR FOR REPEATERS
(e.g. Optional Tour of Business trip)

○修学旅行・教育旅行
SCHOOL EXCURSION/STUDENT TOUR

○長期滞在・ロングステイ
LONG-STAY TOUR FOR SENIOR

○ワーキング・ホリデー・若者旅行者
WORKING HOLIDAY VISA TRAVELER (for YOUNG)

○トライアングル/マルチ・デスティネーションツアー
TRIANGLE/MULTI-DESTINATION TOUR

[CONCLUSION :最後に・・・]

ご清聴をありがとうございました。

[Thank you very much for your attention]

鈴木 勝Masaru SUZUKI

大阪観光大学名誉教授

(IFNAT北東アジア観光フォーラム日本委員会・議長)

[http://tourism-nippon.com/
masarusuzuki0308@gmail.com](http://tourism-nippon.com/masarusuzuki0308@gmail.com)

[参考文献]

* IFNAT REPORT(2007-2018)「北東アジア観光フォーラム」過去発表の論文

* ERINA2018&2019「北東アジア経済発展国際会議(NICE) イン新潟」Northeast Asia

International Conference for Economic Development/2018&2019 NICE in Niigata

2019

THE 14TH INTERNATIONAL FORUM
OF NORTHEAST ASIA TOURISM

第十四届东北亚国际旅游论坛

中国 · 哈尔滨

主办单位：黑龙江省社会科学院（省政府发展研究中心）
东北亚国际旅游论坛（IENAT）
承办单位：东北亚战略研究院 哈尔滨伏尔加庄园

协办单位：黑龙江省文化和旅游厅 黑龙江省东北亚研究会
黑龙江省年鉴研究会 黑龙江省社会科学界联合会
韩中文化友好协会
支持单位：人民网黑龙江频道



× 人民网直播：第十四届东北亚国际...

...



黑龙江省社会科学院副院长闫修成主持



黑龙江省社会科学院东北亚研究所所长、研究员，东北亚战略研究院首席专家宣志刚作主旨发言



俄罗斯联邦远东国际关系学院院长丁凡瓦加诺娃作主旨发言



大阪观光大学名誉教授、原日本樱美林大学教授铃木胜作主旨发言



韩国旅游发展局沈阳支社社长张银美作主旨发言



蒙古国科学院国际关系研究院副教授阿玛尔巴特苏斯尔布尔玛作主旨发言



伏尔加庄园总经理韦敏芳作主旨发言



活动现场



活动现场